

1. 本プロファイルについて

1.1 位置づけ

本プロファイルは、日本の教育 DX 事業者が共有して利用するスタディ・ログ（xAPI 形式）の仕様策定に向け、ICT CONNECT 21 ワーキンググループの配下に設置された xAPI サブワーキンググループの 1 つであるグループ学習支援ツール TF における学習ログを対象として取りまとめた **xAPI Japan Profiles Group Learning Support Tool Profile** 標準仕様である。

本仕様は、グループ学習支援ツール分野に記載されている特性を踏まえ、グループ学習における個人の操作や協働的な学習活動（議論、共同編集等）に関する学習ログを体系的に記録するための仕様である。

1.1.1 共通方針

xAPI プロファイルの思想自体は、データ提供者に対して特定の仕様を強制するものではなく、表現の共通化を支えるための枠組みである。本プロファイルにおいても同様のスタンスをとり、各コンテンツ事業者に対して本プロファイルの規定通りの出力を一律に強制するものではない。

そのため、本プロファイルは、出力方法の方向性を示す「表現のための資産」として位置づけ、あくまで「推奨」として扱う。

したがって、コンテンツの特性に応じて、一部項目を出力しない、あるいは満たさない運用も許容される。また、個別のユースケースにおいて本プロファイルとは著しく異なるデータ構造が必要とされる場合には、本規定に縛られることなく、別のプロファイルが提示・利用されることを拒絶するものではない。

なお、本プロファイルは xAPI 1.0.3 をベースとする。これは、現在の学習分析基盤における普及状況と相互運用性を考慮し、既存の LRS（Learning Record Store）等との円滑なデータ連携を確実にするための選定である。

学習 e ポータルと連携する場合は、システム間の相互運用性を確保する観点から、「初等中等教育におけるシステム間連携のための相互運用標準モデル Version 5.00」も参照する。

1.2 目的

本プロファイルは、グループ学習支援ツールにおける学習ログについて、関係する事業者間で共通の理解のもとに取り扱うことを可能とするため、グループ学習支援ツールプロファイルとしての考え方および記述の枠組みを整理し、共有することを目的とする。

1.3 前提条件

本プロファイルにおける各ユースケースは、xAPI プロファイル仕様で定義されている StatementTemplate および StatementTemplateRules の構造・考え方に準拠して記載する。

本仕様書の記述は、特定の製品仕様に制約されないデータ記述の標準化を目指し、「抽象化された学習ツール」を想定して策定している。特定の既存システムへの準拠ではなく、汎用的な標準仕様を定義することで、広範な学習ツールへの適用を可能にしている。実際のシステム実装において本仕様との差異が生じる際は、本仕様を共通の基点とした上で、各システム特有のスタディ・ログ仕様を補足するプロファイルが別途定義されることも考えられる。

本プロファイルに記載される StatementTemplate で使用される語彙（Verb、ActivityType、Extension 等）は以下のいずれかに整理される。(1) 必要に応じて本プロファイル内の Concepts で定義する。(2) ADL や他の標準で定義済みの語彙を直接参照する。Group Learning Support Tool Profile v1.0.0 では、Concepts の独自定義は行わない。

各ユースケースに付随する StatementTemplate 要素表には、StatementTemplate を構成する要素を示している。ただし、actor については全ユースケース共通で Agent とするため、各ユースケースの規範表への個別の記載は行わないものとする。

本プロファイルは、グループ学習支援ツールにおける学習ログの標準的な解釈および実装方針を読み手が理解しやすい形で示すことを主目的とした仕様書である。このため、xAPI プロファイル仕様上は必須である項目のうち、機械処理やプロファイル登録といった運用段階において主に必要となる項目については、本書の目的に照らし記載を省略する。省略理由は下記に示すとおりである。

- type に期待される固定値 StatementTemplate
- 省略理由：type に指定される固定値 StatementTemplate は、JSON-LD 形式における機械可読性を担保するための項目である。本プロファイルでは、読み手による理解を前提とした仕様書として、StatementTemplate の構造および位置づけを章構成および見出しによって明示しているため、当該項目は省略する。

なお、この項目については、将来的にプロファイルの登録や機械可読な形式での提供が必要となる場合に、改めて検討することとする。

1.4 定義範囲

本プロファイルは、xAPI Japan Profiles Group Learning Support Tool Profile を構成する要素のうち、メタ情報、Concepts、各操作行動に対応する StatementTemplate および Statement の Rules を定義することを目的とする。ただし、グループ学習活動が非線形である特性を踏まえ、xAPI プロファイルにおける Patterns は定義の対象外とする。

本プロファイルは、実装者が JSON 形式のプロファイル（StatementTemplate を含む）を理解し、xAPI Statement を正しく生成するための実装補助資料である。定義された各ユースケースの構造やサンプルは、プロファイルビューアーに JSON ファイルを読み込ませることで直接確認することができる。

1.5 本プロファイルの構成について

本プロファイルは、xAPI プロファイル仕様に基づき、グループ学習支援ツール学習ログに関する標準的な解釈および実装方針を示すことを目的とする。本プロファイルは、以下の要素を含む。

- メタ情報：プロファイル全体のメタ情報およびバージョン管理
- StatementTemplate：各ユースケースに対応する StatementTemplate の構造および必須要素
- Rules：StatementTemplate の検証規則

2. メタ情報

2.1 本章の位置づけ

本章では、本プロファイルを識別・管理するために必要なメタ情報を示す。

メタ情報は、プロファイル全体の情報として参照される項目である。

2.2 構成要素

プロファイルのメタ情報を構成する要素を示す。

項目	説明	値
id	プロファイル IRI	https://w3id.org/xapi-japan-profiles/group-lst/v1.0.0
type	オブジェクトタイプ	Profile
conformsTo	準拠する xAPI プロファイル仕様	https://w3id.org/xapi/profiles#1.0
プロファイル名 prefLabel	プロファイルを識別する名称	xAPI Japan Profiles Group Learning Support Tool Profile
バージョン version	プロファイルの改訂番号やリリース状態	v1.0.0
作成者/管理者 author	プロファイルの作成者や責任者	ICT CONNECT 21 xAPI SWG
作成日/更新日 versions	文書化日または改訂日	2026-04-01
言語 languages	メタ情報およびプロファイルの記載言語	日本語
目的/説明 definition	プロファイルが対象とする学習ログや用途	日本の初等中等教育におけるグループ学習支援ツールログのプロファイル
ドキュメントバージョン	文書版数	2026 年度版

2.3 記述規則の記載方針

本プロファイルでは、xAPI Profile Specification および xAPI-Spec で規定されている内容と同一の項目は重複して記載しない。

各 StatementTemplate では、Group Learning Support Tool Profile として個別に明示する必要がある項目のみを、当該 Template の記述規則（Rules）に記載する。

3. Concepts

3.1 本章の位置づけ

本章では、Group Learning Support Tool Profile において使用する共通語彙（Concepts）を定義する。

3.2 対象

本版では、Concepts の独自定義は行わない。

4. グループ学習に関するユースケース

4.1 本章の位置づけ

本章では、グループ学習における学習活動の特性を述べ、本プロファイルで定義する StatementTemplate の背景にある考え方を示す。

4.2 グループ学習の特性と主な学習活動

「グループ学習」とは、個人ないし集団が行う学習活動を指す。グループ学習でありつつ、個人の学習活動も範囲とする理由として、個人の考えを作成した後にグループで交流し、また、グループで交流したことを踏まえて個人の考えを編集するといった往還が見られるためであり、厳密に弁別できないためである。

主な学習活動の例：

- 他者が共有した成果物・投稿物に対して「いいね」を送るなど、反応すること
- 他者が共有した成果物・投稿物に対してコメントしたりフィードバックしたりすること

4.3 本プロジェクトの成果と今後の課題

本プロジェクトの成果

- 本プロファイルでは、グループ学習支援ツール内における他者の共有成果物・投稿物への反応（いいね、コメント等）を記録する StatementTemplate を定義した。これにより、グループ学習における個人の貢献度や相互作用の状況を追跡し、協働学習の支援や評価に活用できる。なお、本版では他者への反応に関する操作ログの記録を主な対象とし、自分や自分たちの考えをテキストやオブジェクト等で表現する活動の記録は、今後の拡張対象とする。

今後の課題

- **協働の質の分析:** 単なる操作ログだけでなく、「対話の構造」や「役割分担」といった、協働学習の質を分析するための上位レイヤーのコンテキスト情報の定義。
- **同期状態の表現:** タイムライン上での他者との相互作用（ターンテイク等）を分析しやすくするための、グループ ID やセッション ID の厳密な運用ルールの策定。
- **評価ループリックとの連動:** グループでの協働過程を、教職員や学習者が設定した評価ループリックと関連付けて記録するための、評価基準のメタデータ定義。
- **自分・自分たちの考えの表現の記録:** 個人またはグループが考えを文章・図表・成果物等で表現する活動を対象に、オブジェクト種別、更新履歴、共同編集の関係性を一貫して記録できる StatementTemplate および運用ルールの整備。

5. StatementTemplate

5.1 本章の位置づけ

本章では、Group Learning Support Tool Profile における各操作のデータ構造を定義する。各テンプレートは以下の「基本仕様」および「記述規則」の構成で記述される。

5.2 前提条件

- 基本仕様
 - 冒頭に definition の位置づけとして、Template の目的やどのような操作を記録するためのものかを定義する。
 - 識別情報
 - Template を管理上特定するための情報として 3 要素 (id,inScheme,prefLabel) を含む。
 - 判定条件
 - 受信した Statement がどの Template に該当するかを自動判別するための固定値 (verb) を示す。
- 記述規則 (Rules)
 - Statement 内の各プロパティに対する制約を示す。以下の要素を含む。
 - データの所在 (location) : JSONPath 方式で記述されるデータの位置。
 - presence : included (必須)、recommended (推奨)、optional (任意) とする。なお、xAPI の JSON-LD 表現においては、presence: "optional" という値は公式にはサポートされていない。JSON-LD 形式でプロファイルを記述する場合、presence プロパティを省略した場合は「任意 (optional)」として扱う。そのため、included (必須) および recommended (推奨) の場合のみ presence を明記し、optional (任意) の場合は presence プロパティを省略する運用とする。本プロファイルもこの方針に従う。

- ScopeNote の内容に基づいた値の定義や運用上の注意点。
- Markdown テーブルの構成
 - 各 Template の末尾には、システム設計・実装時に参照しやすいよう、記述規則 (Rules) を一覧化したテーブルを配置する。

5.3 StatementTemplate 一覧

5.3.1 共有成果物へのコメント

5.3.1.1 基本仕様

- 共有成果物・投稿物に対してコメント・返信を行ったことを記録するためのテンプレート。
- 識別情報

項目	値
id	https://w3id.org/xapi-japan-profiles/group-1st/templates/v1.0.0/replied
inScheme	https://w3id.org/xapi-japan-profiles/group-1st/v1.0.0
prefLabel	共有成果物へのコメント

- 判定条件

項目	値
verb	http://id.tincanapi.com/verb/replied

5.3.1.2 記述規則 (Rules)

項目	Location (JSONPath)	Presence	説明(scopeNote)
親アクティビティ ID	<code>\$.context.contextActivities.parent[*].id</code>	recommended	コメント対象が所属する課題、演習、場、または共有先コンテナを示す。
コメント本文	<code>\$.result.response</code>	recommended	コメント本文が取得できる場合に記録する。取得できない場合は省略可とする。

5.3.2 スタンプ送信

5.3.2.1 基本仕様

- 共有成果物・投稿物に対して「いいね」等のスタンプを送信したことを記録するためのテンプレート。
- 識別情報

項目	値
id	https://w3id.org/xapi-japan-profiles/group-lst/templates/v1.0.0/voted-up
inScheme	https://w3id.org/xapi-japan-profiles/group-lst/v1.0.0
prefLabel	スタンプ送信

- 判定条件

項目	値
verb	http://id.tincanapi.com/verb/voted-up

5.3.2.2 記述規則 (Rules)

項目	Location (JSONPath)	Presence	説明(scopeNote)
親アクティビティID	<code>\$.context.contextActivities.parent[*].id</code>	recommended	リアクション対象が所属する課題、演習、場、または共有先コンテナを示す。